

LPガスCP情報(2016年9月積み)

1. 9月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **295** 円/ドル (前月比+10円/ドル)

ブタン **320** 円/ドル (前月比+30円/ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、産ガス国の供給が潤沢なうえ消費国の在庫が高く不需用期でプロパンを中心に需給は緩和していたが、スポット市況は、急反騰した原油市況に追随し堅調に推移した。シンガポール沖には一時フローティング在庫と化した20艘弱のカーゴが行き先を求めていたほどLPG需給は緩和、産ガス国アクセプタンスも在庫高で前倒し、フレート市況は米国玉のキャンセルもあり需給緩和で軟化していた。ただ、中国等でブタン付カーゴの需要があり、極東CFR市況も第3週にプロパン300円/ドル、ブタン320円/ドルに反騰し、第4週も続伸し、プロパン・ブタン格差も25円/ドルに拡大した。ナフサは原油市況に連れ軟化後反騰、月間平均では380円/ドル、前月比15円/ドルの下落となるもナフサ高ブタン安。バンカーオイルは、月間平均では240円/ドル、前月比ほぼ横ばい。一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、不需用期で全米プロパン在庫が増加したが、原油市況の反騰で240円/ドルどころに戻している。

9月CPは前年同月比プロパン20円/ドル、ブタン25円/ドルのそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン2ポイント、ブタン7ポイント高、前年同月比ではプロパン1ポイント高、ブタン変わらず。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	22	20	20	20	21
CP先物指標：P	275	280	280	300	284
CP先物指標：B	285	295	300	325	301

② 原油市況等

WTIは8月40.06円/ドルでスタート、OPECの増産と株式市場の下落を受けたリスク回避の動きが強まり翌2日には4月以来の40円/ドル割れで弱気相場(直近高値から20%以上下落)入りとなった。中旬に入ると、9月アルジェでOPEC非公式会合が開催されることになり増産凍結期待から反騰、ドル安もあり7営業日続伸で19日には48.52まで急騰、主要産油国の口先介入が功を奏した形となった。ファンダメンタルズをみると、米原油在庫は1930年以来の超高水準、リグ稼働数も6月以降増加に転じ米原油生産量も下げ止まりつつある。また、OPEC加盟国は過去最高水準まで増産、イラクが増産を外資企業に要請、サウジは大規模な市場介入の必要性を否定するなど、供給超過の状況に変わりはない。

一方、NYMEXのWTI総取組高は30日時点で180万枚、12日に190万枚まで増加したが、急騰局面で売建玉が手仕舞われた。大口投機玉の買越残高は23日時点で35.4万枚と前月末比8万枚の大幅増加、買建玉15千枚増に対し売建玉が65千枚減少した。

○8月積みアラビアン・ライト(8月1~30日)は44.15円/ドル(前月比+0.67円/ドル)

熱量等価AL100% プロパン361.98円/トン ブタン357.02円/トン

AL比 プロパン81.50% ブタン89.63%

***上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。**

2. 2016年9月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	103.81	30,100	31,700	-100	+500
26~25日②	102.88	29,800	31,400	-500	+100
1~31日③	102.34	29,700	31,200	-700	-300

*TTS平均は①が7月21日~8月20日まで、②は7月26日~8月25日、③は8月1~31日まで、①、②、③ともに9月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。